

# キャリアデザイン 演習B

## 第7講

アイデアを出してチームに貢献する  
(Ⅱ)

---

# 重要な お知らせ

第1週～第6週までの課題は

6月30日までに提出してください

提出しない回は0点評価です

※ 出席した回のみ提出してください

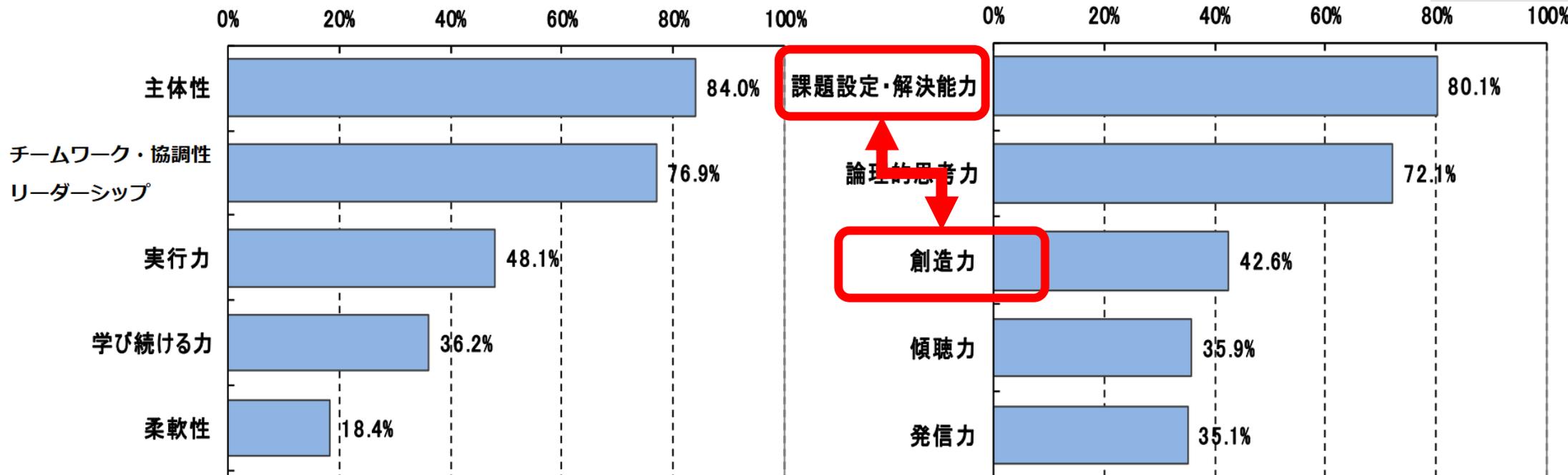


# 1. 授業の狙い

- 「会員企業に実施した採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」 2022年1月日本経済団体連合会

## <特に期待する資質>

## <特に期待する能力>



# ざっくり小樽



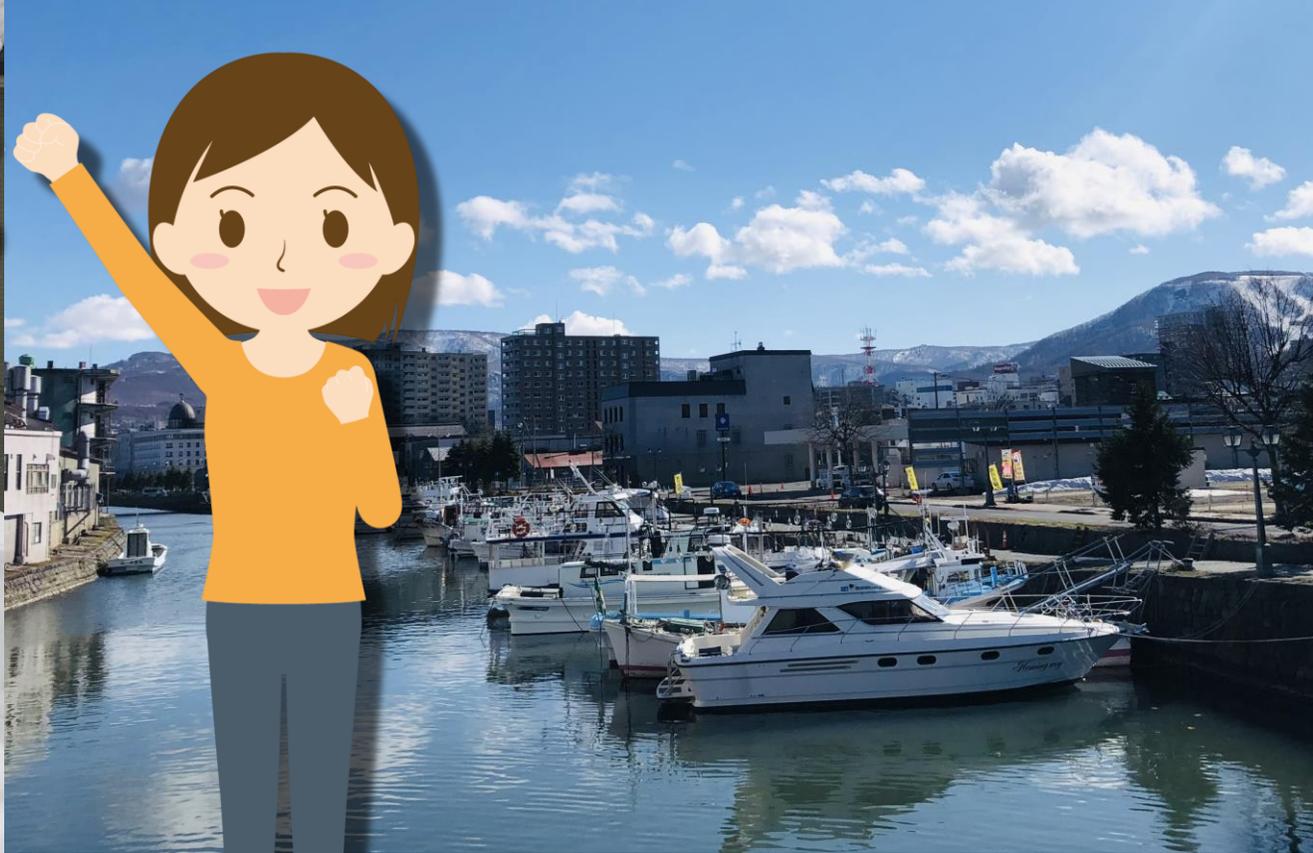
毎年2000人減

- 観光客数 7,814,200人（コロナ前2019年）
- 人口2018年4月117,783人 → 高齢者46,249人（39.3%）
- 人口2023年4月107,871人 → 高齢者44,856人（41.6%）
- 新生児 2000年970人 → 2022年385人
- 町内会長 75%が70歳以上
- 空き家数 平成20年7,940棟 → 平成30年11,200棟

少子・高齢化

空き家・町会衰退

実は観光客が多くて賑わっているように見えるが  
課題が山積のまち！



テーマ



アイデアを出して小樽市の課題を解決しよう！

# 第6講～第10講の予定



- ・ テーマは「**アイデアを出して小樽市の課題を解決しよう**」です
- ・ 第6講～第10講まで連続5回同じメンバーでグループワークを行いますので極力欠席しないようお願いします

## 【第6講】

小樽市の課題を  
調査する

## 【第7講】

解決する課題を  
一つに絞る

## 【第8講】

ブレストでアイ  
ディアを出す

## 【第9講】

解決策をプレゼ  
ンにまとめる

## 【第10講】

小樽市職員にプ  
レゼンする

パワポで作成します

職員が見学します

# 小樽市が抱える福祉課題



01

子ども・  
子育て  
(50)

02

高齢・  
介護  
(30)

03

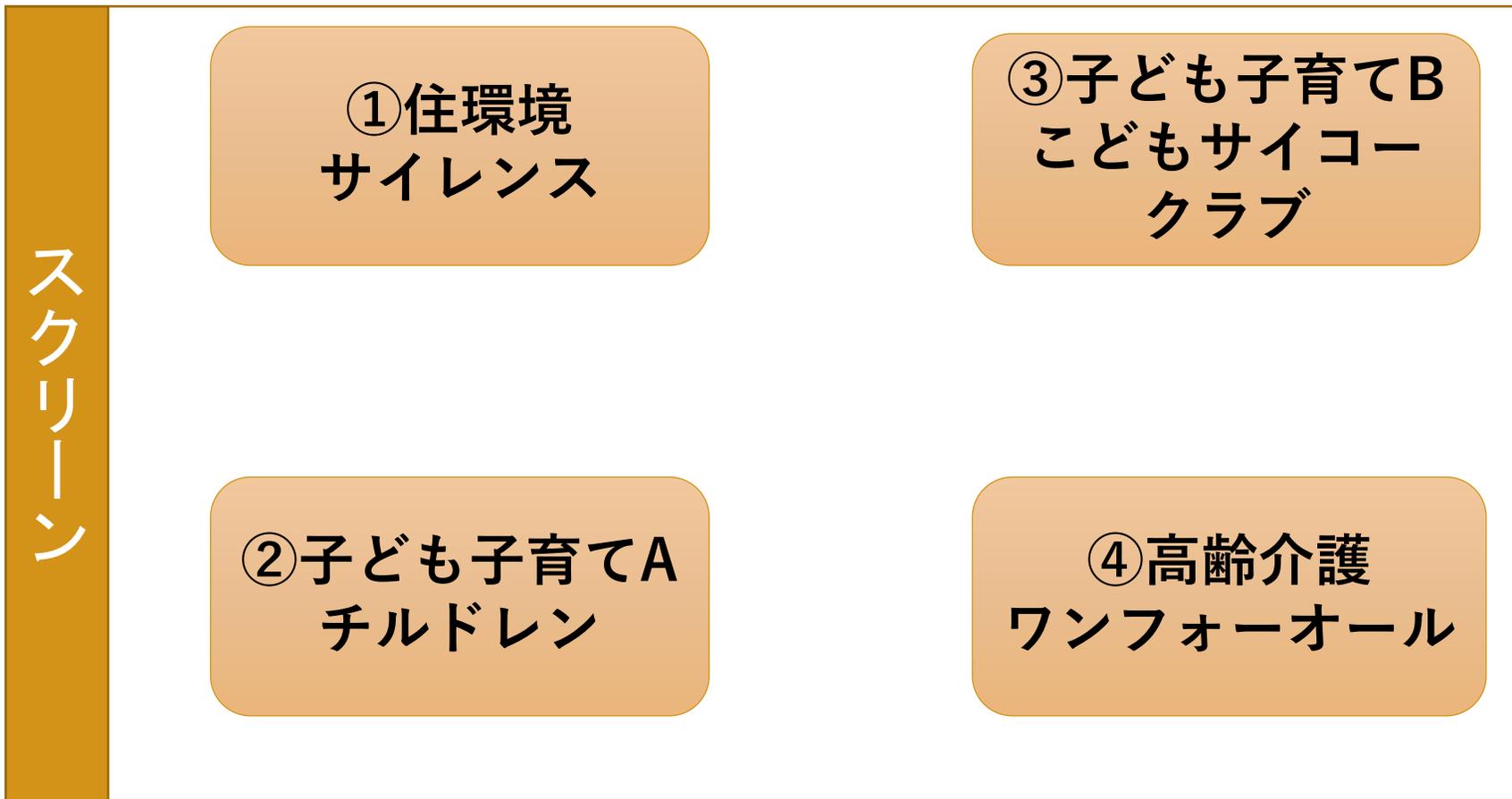
住環境  
(20)

04

地域活動  
(20)

# 4つのグループに分かれます

窓側



廊下側

# 5つのグループに分かれます

教室

ラウンジ

スクリーン

① 高齢介護  
トレーニー  
ササキ

③ 子ども  
子育てB  
オタル・  
ハタモト

④ 子ども  
子育てC  
チャイルド  
グループ

② 子ども  
子育てA  
ラーメン

⑤ 地域活動  
オタリスト

# 4つのグループに分かれます

教室

ラウンジ

スクリーン

①住環境  
Living

②地域活動  
老人と海

③子ども  
子育て  
Tomorrow  
Research

④高齢介護  
仮) スギカ  
ファン

# 役割分担をしよう！

揃っているか？確認して、  
“いない担当”は  
新たに決めてください！



## リーダー

話し合いを進めて  
課題に対する解決  
策をとりまとめる

やってみたい人  
休まない人



## サブリーダー

リーダーが不在の  
ときに話し合いを  
進める

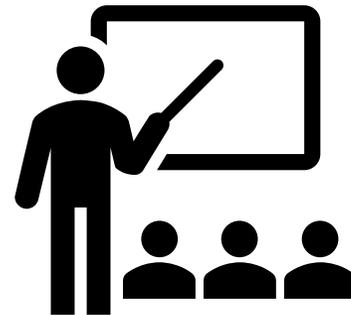
やってみたい人  
休まない人



## 書記

全員の意見をホワ  
イトボードに記載  
する

やってみたい人  
毎回変わっても可



## パワポ担当

小樽市職員に提案  
するプレゼン資料  
をパワポで作成

名簿赤字の人  
複数いるチームは  
助け合う



# リーダーにお願いです！

## 挙手制

意見のある方は  
挙手を願います



## 指名制

〇〇さん  
意見をお願いします



## 脱線しない

テーマに関係のない会話はや  
めて話合いに集中しましょう



サブリーダーも  
テーマに集中でき  
る環境づくりに協  
力してください



解決する課題を  
一つに絞る！

課題A

課題B

課題C

課題?

# moodleを開こう！

- 各テーマの課題を、moodleに保存しています
- 各自ファイルを開いて、内容を確認しながら話し合いを進めてください

【第6講】 アイディアを出してチームに貢献する（I）

【第6講】 課題

【第6講配布資料】 子ども・子育て

【第6講配布資料】 高齢・介護

【第6講配布資料】 住環境

【第6講配布資料】 地域活動

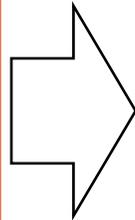
# 解決する課題を一つに絞りこもう！

候補にした  
3つの課題を  
ホワイトボード  
に記載

課題A

課題B

課題C



< 選ぶ基準 >

- ① 困っている人の気持ち  
を理解し共感できるか？
- ② 自分たちが自らやる気  
になれるか？

一つに絞る

課題A

組合せも可

課題D



絞り込んだ課題を文章化して  
ホワイトボードに記載

私たちが  
助ける相手

私たちは●●が  
■■■で困っている  
課題を解決する

絞り込んだ  
課題



第6講配布資料（子ども子育て・高齢介護・  
住環境・地域活動）を見ながら絞り込む

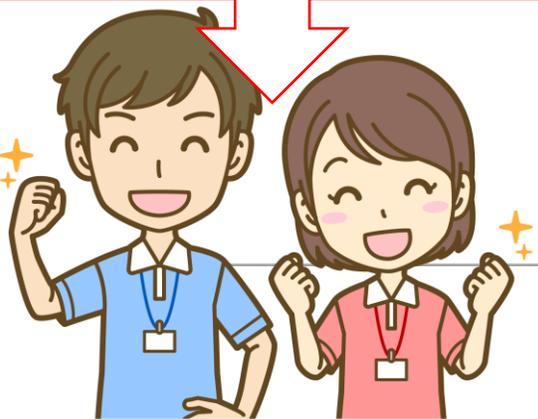
# 選ぶ基準

時間の目安：15分

困っている人に  
寄り添えるか？



全員がやる気にな  
れる課題か？



決まったらでっかく書く！

チーム××

私たちは●●が■■で困っている課題を解決する

2行分ほど  
空ける

候補にした**3つの課題**と  
メンバーから**出された意見**や**選んだ理由**  
をここに記載



他者のアイデア  
を参考にする！



誰かのアイデアに  
刺激をもらうと、  
新しいアイデアを  
思いつきやすい



時間の目安：15分

最大5つ  
少なくともよい

# 使えるようなアイデアを選ぶ

- 「小樽市しあわせな地域づくりワークショップ意見集」を読む
- 自分たちが絞り込んだ課題を解決する際に**使えるようなアイデア**を選択する
- **5ページ**に、**選んだアイデアの番号**と**選んだ理由**を記載する
- 独自に考えた新しいアイデアがあれば、それも記載する

1. 子ども子育て →活用できそうなアイデアは[ ][ ][ ][ ][ ]番
- ① 地域に色んな子どもがいること、子どものために色んな活動をしている大人がいることなどを、ひとりひとりが「知る」ことが大切。
  - ② 夜型の子育てサロンがあると、共働き世帯には有難い。
  - ③ 母子生活支援施設の役割として、育児支援や育児疲れの母が短期入所、母親のレスパイト（一時休止や休息のこと）ができると良い。
  - ④ 小樽市にも子育てのボランティアなど、同じことを考えて活動している人たちはたくさんいるので、「情報の周知」が重要。
  - ⑤ 携帯を利用する子どもも増え、便利な世の中になったが、逆に孤立や分断を生んでいるのではないかと懸念されている。子どもが本音に困ったときには、チャットや目の前について話を聞ける存在が不可欠である。
  - ⑥ 子どもに声をかけるだけで、不審者情報として流れてしまう。しかし、地域で挨拶し合うところは、自殺者が少ないとの統計もあるので、地域で子どもを見守る体制づくりが必要。
  - ⑦ 公園が雪捨て場で立入禁止のため、子どもにとって冬場の遊び場の確保が課題である。雪捨て場としては小さい公園で遊べるように開放できると良いが、安全面から管理する人材が必要。
  - ⑧ 放課後児童クラブ等の学齢期の子どもが相談しやすいところに人を配置し、自ら子どもた

# 他者のアイデアを参考にする

- リーダーは、選んだアイデアを一人ずつ発表させる
- 書記は、ホワイトボードに記載する
- 全員で、ホワイトボードを見ながら、**アイデア同士を組み合わせたり、自分が知っている取組と結び付けて、解決に使えるようなアイデアを作って、**どんどん発表してみよう！

本日の課題です！

しっかりメモしておきましょう



消さないで！

時間の目安：20分

チーム××

私たちは●●が■■で困っている課題を解決する

ここに

各自が意見書から選んだアイデア

をできるだけ多く記載しよう！

新しいアイデア・思いつきのアイデア也大歓迎

ふらっと立ち寄れて、意識を高める授業

全文を書かないで  
下線部分だけを記  
載すると見やすい

それな



思いついたら  
すぐ発表！





**To be  
continued**

# 第7講の課題

- 以下の質問への回答をmoodleからオンラインテキストで提出してください。
    1. 一つに絞り込んだ「解決する課題」を記載してください。
    2. ホワイトボードに記載されたアイデアをすべて記載してください。
    3. 新たに思いついたアイデアがあれば記載してください。加点します
-



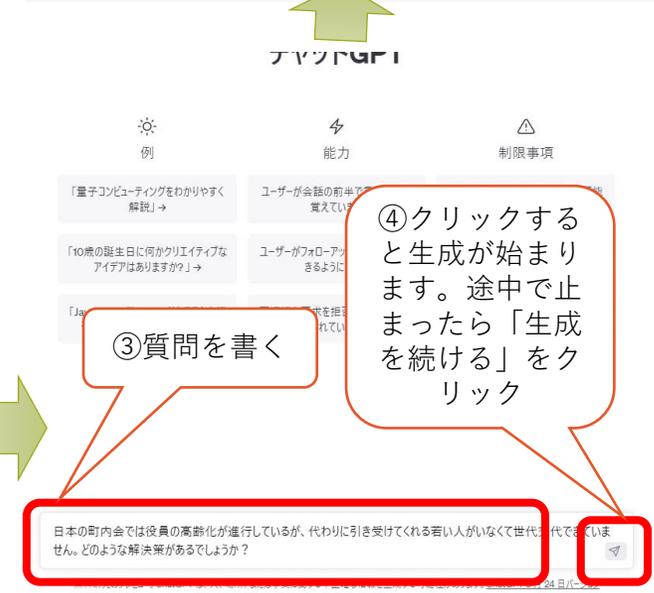
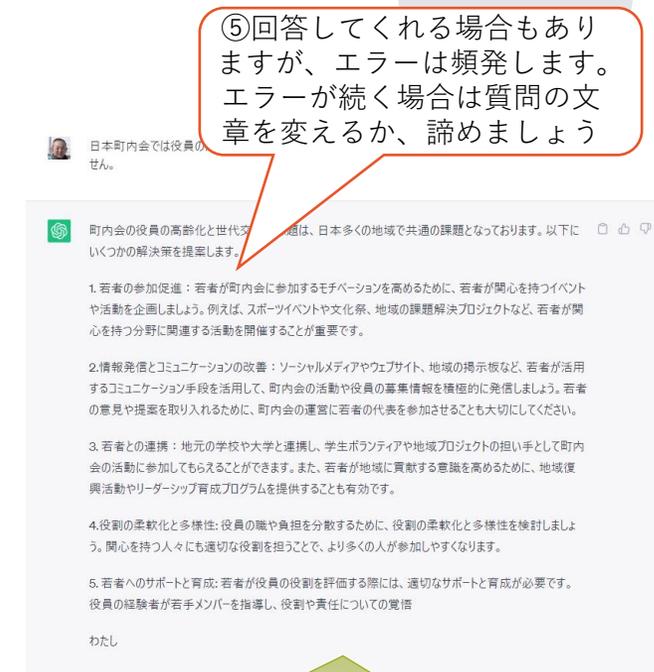
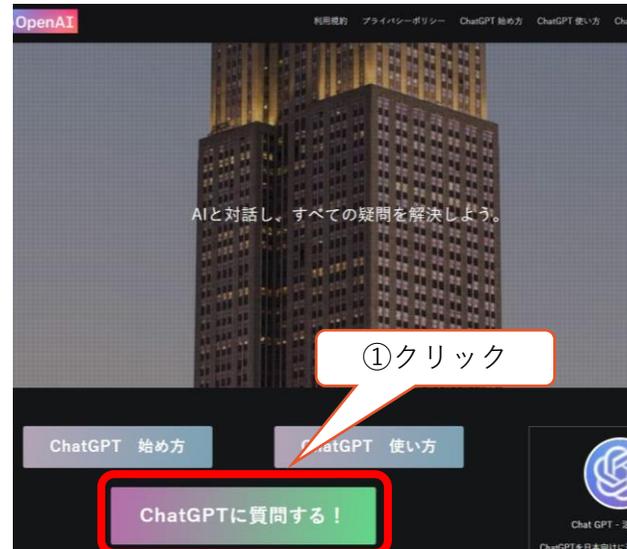
## 第8講の予習～求む情報

- **すでに世の中で実行されている取組**で、自分たちの解決方法の**参考になりそうな取組**をネットから探してください
  - [ChatGPT](#)を使って質問しても構いません
  - 探した情報はスマホやパソコンで表示させ、**キャプチャーした画像をこちら**（Googleドライブ）に投稿してください
  - 「子ども・子育て」「高齢・介護」「住環境」「地域活動」フォルダに分かれていますので、自分たちのテーマに該当するフォルダに保存してください
-

<https://openai-chatgpt.jp/>  
にアクセスします

# ChatGPTを使う

- ChatGPTに「日本の町内会では役員の高齢化が進んでいますが、代わりに担ってくれる若い人がいなくて世代交代できません」と質問したところ、5つの提案がありました。
- 使い方を説明しますので、興味のある学生は試してください。
- 予め、Googleアカウントをつくっておくことを勧めます。



# ChatGPTの回答

1. 若者が関心を持つ活動を開催
2. SNSを使って若者に情報発信
3. 学校や大学と連携してリーダーシップ育成プログラムを実施
4. 関心を持つ人を積極的に役員にする
5. 役員による若者の指導や育成を実施



日本町内会では役員の高齢化が進んでいますが、代わりに言ってくれる若い人がいなくて世代交代できません。



町内会の役員の高齢化と世代交代の課題は、日本多くの地域で共通の課題となっております。以下にいくつかの解決策を提案します。

1. 若者の参加促進：若者が町内会に参加するモチベーションを高めるために、若者が関心を持つイベントや活動を企画しましょう。例えば、スポーツイベントや文化祭、地域の課題解決プロジェクトなど、若者が関心を持つ分野に関連する活動を開催することが重要です。
2. 情報発信とコミュニケーションの改善：ソーシャルメディアやウェブサイト、地域の掲示板など、若者が活用するコミュニケーション手段を活用して、町内会の活動や役員の募集情報を積極的に発信しましょう。若者の意見や提案を取り入れるために、町内会の運営に若者の代表を参加させることも大切にしてください。
3. 若者との連携：地元の学校や大学と連携し、学生ボランティアや地域プロジェクトの担い手として町内会の活動に参加してもらえることができます。また、若者が地域に貢献する意識を高めるために、地域復興活動やリーダーシップ育成プログラムを提供することも有効です。
4. 役割の柔軟化と多様性：役員の職や負担を分散するために、役割の柔軟化と多様性を検討しましょう。関心を持つ人々にも適切な役割を担うことで、より多くの人に参加しやすくなります。
5. 若者へのサポートと育成：若者が役員の役割を評価する際には、適切なサポートと育成が必要です。役員の経験者が若手メンバーを指導し、役割や責任についての覚悟

わたし